

## 議会報告会 報告書

秦野市議会議長 小菅 基司 様

文教福祉常任委員会委員長 野々山 静香

開催日時	令和4年11月7日（月） 【第1部】午前11時から、【第2部】午後2時から
開催場所	子育て支援センター「ぼけっと21すえひろ」（秦野市末広町6-35）
出席委員	委員氏名（役割）
	野々山静香（司会、総括）、中村英仁（総括） 伊藤大輔（第2部）、古木勝久（第1部）、佐藤文昭（第2部）、 高橋文雄（第1部）、風間正子（第2部）、諸星光（第1部）
参加者数	【第1部】4世帯、【第2部】4世帯 合計8世帯
主な流れ及び 時間配分	【第1部】11:00～11:05 議会報告 11:05～12:00 意見交換 【第2部】14:00～14:05 議会報告 14:05～15:00 意見交換
内容  （話し合われた 課題や意見、所感 等）	第1部、第2部ともに、開始から5分程度で意見交換の趣旨等を説明 した後、グループに分かれて意見交換を実施  【意見交換で出た主な意見】 1 世代間で解決が可能な取組 ・近隣の高齢者が家庭菜園で子どもに収穫体験をさせてくれたため、 買い出し時に車を出すなどの支援をしている。 ・他市に住む両親が、子どもが集まる場でのイベントに参加し、昔の 遊びなどを通して関わりを持つことで、自身の認知機能維持にも つながっていると考えられる。 ・コロナで自治会活動が停滞しており、接点が減っているのは残念。 ・高齢者世代と接する機会が無く、子どもなどを通じた体験活動が充 実してほしい。 ・自治会の高齢者による通学路の見守りは助かる。 2 行政によるサポートが必要な取組 ・ファミリーサポートについて、緊急時に使いたいというニーズに対 して、手続きが手間であり、使いづらい。また、コストも高い。加 えて、子どもに対する接し方に個人差があり、マッチングの面での 課題を感じる。

	<ul style="list-style-type: none"><li>・職が決まっていない状態では保育園への入所が難しく、就労が進まない。一方、祖父母の支援を受けるにしても、長時間のお願いは難しい。</li><li>・幼稚園での3年保育があれば、短時間でのパート等、可能性が広がると感じる。また、送迎バスがあれば有料でも使いたい。</li><li>・ぽけっと21の取り組みには感謝している。</li><li>・病後児保育の事前手続きのハードルが高く、途中であきらめてしまう。</li><li>・定年年齢が65歳に引き上げられることから、60歳以上の世代が孫の支援をしづらくなることが想定され、両親に代わって孫の養育を行う場合の休暇について、令和5年1月から宮城県で運用が始まることから、導入を検討してはどうか。</li></ul>
--	--